

波佐ネット通信

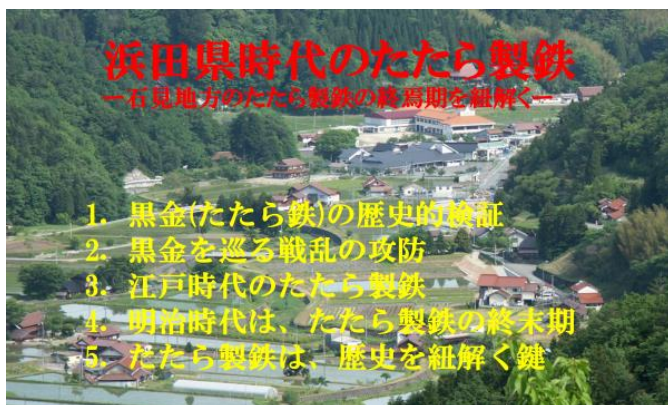
No. 269 2024.11.17

第48回文化講演会開催

11月17日(日)午前10時から正午まで、波佐まちづくりセンターにおいて、第48回文化講演会が開催されました。演題は、「浜田県時代のたたら製鉄」―石見地方のたたら製鉄の終焉期を探る―と題して、金城資料館長の隅田正三氏が講演された。

講演では、①黒金(たたら鉄)の歴史的検証 ②黒金を巡る戦乱の攻防 ③江戸時代のたたら製鉄 ④明治時代は、たたら製鉄の終末期 ⑤たたら製鉄は、歴史を紐解く鍵 の5つの項目に分けてパワーポイントを用いて講話された。

この文化講演会は、西中国山地民具を守る会が主催しているもので、文化財に関わるテーマで50年前から毎年1回、開催しているものです。今回は、たたら製鉄に関心のある市民の方々が多数聴講されました。なお、金城資料館の企画展「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」の会期は12月28日までです。



講演のパワーポイント・タイトル



講演会の模様

波佐まるごとミュージアムの看板設置

金城民俗資料館前国道沿いに設置

『波佐まるごとミュージアム』

石峰&抱月のふるさと金城町

金城町波佐地区から全点無償提供による民俗資料3,500点取蔵展示している。国指定758点、県指定221点など。特に紙漉き用具は全国でも希な「茅の漉簀」などや、囲炉裏の間の復元展示がある。

文化年間に完成した「たたら蔵」を資料館に改修した石見地方唯一の「たたら製鉄」関係の資料館。二丁ふいご等の復元展示、ふるさとの偉人能海寛・島村抱月資料、埋蔵文化財など市指定文化財を展示。

真宗大谷派の寺院。本堂は総ケヤキ造り、能海寛がチベット探検で旅立つ前に設計しておき大正5年に完成した建造物。境内には能海寛顕彰碑・略歴碑・歌碑がある。西側にハクモクレン(市指定)がある。

神亀2年、神祇官河野監物が大井谷の宮地谷に派遣された神社。平安末期に波佐一本松城の鬼門除けのため、現在地に遷宮された。永万元年には神祇官領・長田別府の時に「黒金」が年貢注文されていた。

浜田市金城民俗資料館
浜田市金城歴史民俗資料館
天頂山浄蓮寺
亀遊山大蔵神社

石峰&抱月のふるさと金城町 ミュージアム 『波佐まるごと博物館』

お勧め観光コース

- ① 学べる博物館をスタンプラリーで巡る
- ② 能海寛の歌碑巡りコースを巡る
- ③ たたら製鉄資料と関係遺跡を巡る
- ④ 笠松峠石路と波佐一本松城跡を巡る
- ⑤ 能海寛と島村抱月のふるさを巡る
- ⑥ 巨樹・巨木・銘木を巡る

★印の場所に記念スタンプを設置(スタンプラリーをお楽しみください)

ホームページへリンク